



REAR CAMERA ADAPTER

RCA084K

リアカメラ接続アダプター 取付/取扱説明書



日本国内専用

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

内容物一覧(取付前に必ずご確認ください)

- カメラ接続アダプター ×1
- 切替スイッチ ×1
- RCA変換アダプター ×1
- オスギボシ ×5セット
- 結束バンド ×5
- メスギボシ ×5セット
- 両面テープ大/小 ×各1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1

ご相談窓口



サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442

【受付時間】月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>



弊社製品紹介・製品取付 動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>



Data System 株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

注意事項

本書には取り付け / 取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを、あらかじめご承知おきください。

重要

本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

- 取り付けるモニター(ナビゲーション)にリアカメラ入力端子(ピン端子)があることを確認してください。
- 必要な場合はビデオ延長ケーブルを別途ご用意ください。

注意

守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計などのメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターやチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外して頂きますようお願い致します。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内の音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクタを外すときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関する責任は弊社では一切負いません。あらかじめご了承ください。

取付方法

本製品を接続するカメラ用コネクタは、ナビゲーション装着スペースにあります。

1. バッテリーのマイナス端子を取り外します。
2. ナビゲーション本体を取り外します。
接続概要図を参照して各配線を接続します。
3. ナビゲーション装着スペースにある12ピンコネクタに、本製品の12ピンコネクタを接続します。
4. 本製品の3ピンコネクタに、切替スイッチを接続します。
5. 新しく装着するナビ(モニター)のカメラ入力端子に本製品のピン端子を接続します。
6. ナビゲーションが動作する状態まで内装を復元して、バッテリーマイナス端子を接続します。
7. シフトレバーを「R(リバース)」にして、ナビの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
8. 「F.」の状態(で)本製品の【切替スイッチ】を押して、カメラ映像パターンが切り替わることを確認してください。
9. 「R」以外にシフトを動かしたとき、ナビ画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認してください。
10. 次に本製品の【切替スイッチ】を押して、ナビの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
11. 「F.」の状態(で)本製品の【切替スイッチ】を押して、カメラ映像のパターンが切り替わることを確認してください。
12. 取り外したパネル類を元に戻し、取り付け作業は終了です。

ONE POINT

●シフトレバーを「R(リバース)」にしてもリアカメラの映像が表示されない場合は、次の項目を点検してください。

1) 画面がカメラ画面へ切り替わらない場合

- ・ナビのメニュー項目でバックカメラの設定を再確認してください。
- ・ナビのバック信号線が本製品のバック信号線(紫線)に正しく接続されているか再確認してください。
- ・キー ON 時に切替スイッチが点灯していない場合は、本製品の ACC と GND の接続を再確認してください。

2) 画面がカメラ画面へ切り替わるが、カメラ映像が映らない場合

- ・本製品を接続している RCA 端子はカメラ入力に間違いありませんか？ナビの取付説明書で端子名称を再確認してください。
 - ・ACC-ON では車両システムが作動しないため、エンジン作動状態で再確認してください。
- リバース時以外にスイッチを押してもフロントカメラの映像が表示されない場合には次の項目を点検してください。

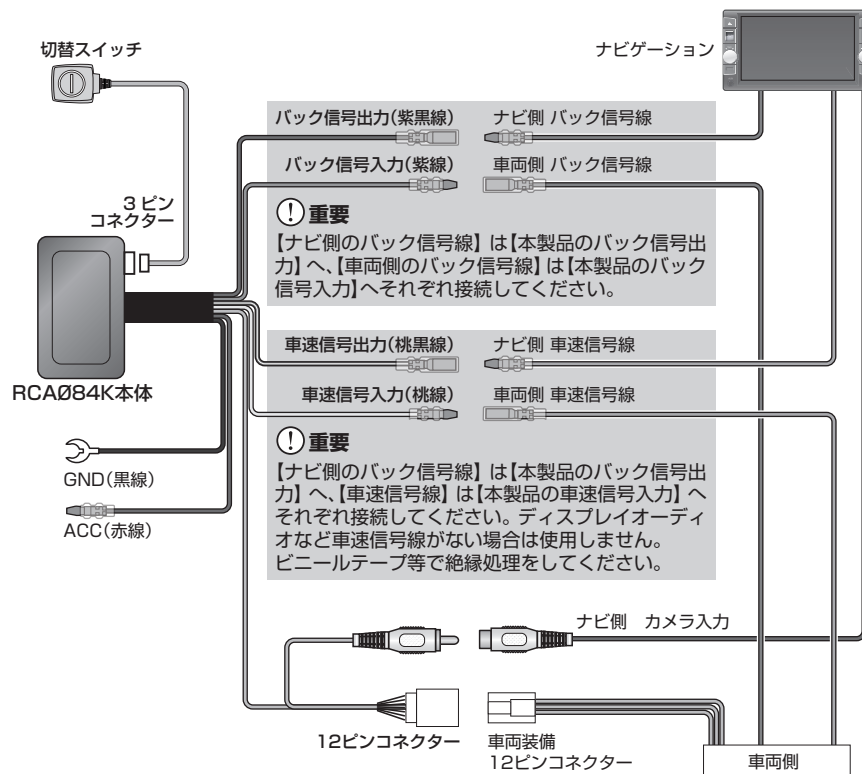
- ・ナビゲーション側のバック信号線・車速信号線、及び本製品のバック信号出力・車速信号出力が車両側配線に接続されていないかを再確認してください。接続されている場合は切り離してください。

接続概要図



本説明書はナビが装着されていない状態を前提としております。

既にナビが装着されている場合は、ナビの信号配線(車速・バック・パーキングブレーキ)をはずしてから作業を行ってください。



注意

- 必要に応じてギボシ端子を取り付けて接続してください。
- 装着されるナビによっては、本製品が作動中に車速に関するエラーメッセージが現れることがあります。この場合は本製品の車速信号入力および車速信号出力は使用せず、ナビ側の車速信号線を直接車両側の車速信号線へ接続してください。
- 本製品の作動中は、ナビの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビへバック信号を出力し強制的にリアカメラ画面を表示しているためです。不正確になった自車位置は、本製品の作動停止後にナビのGPS機能によって補正されます。(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります)

使用方法 条件によって表示されるカメラ映像は異なります。下記をご参照ください。

- 重要**
- 本製品から出力される映像にはカメラのガイドラインも表示されます。ナビゲーションのガイド線と重複する場合にはナビゲーションのガイド線を非表示にしてください。ナビゲーションによっては「車両周辺の安全を直接確認してください」などの注意喚起メッセージが重複して表示されたままになる場合がございます。
 - 切替スイッチのLEDはエンジン始動中は点灯したままになります。
 - 本製品の動作中は、ナビの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビへリバース信号を出力し、強制的にリアカメラ画面を表示させている為です。これにより本製品の動作中は車両が後進しているとナビが誤判断し、画面上の自車位置が不正確になります。そのため、ナビの目的地案内を使用しているときは、本製品の使用時間を極力短くするようにしてください。なお、不正確になった自車位置は、本製品の動作停止後、ナビのGPS機能によって補正されます(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります)。

